

【テックジム】Ruby on Railsコースへようこそ（テキストの使い方）

テックジムの各課題（小問題）には、サンプルソースが用意されています。

サンプルソースはそれぞれgitのブランチになっています。

例) lesson1ブランチを元にコーディングをして、その模範解答はlesson2ブランチです。

lesson2ブランチを元にコーディングをして、その模範解答はlesson3ブランチです。

gitの使い方はこちらの5ページ目を参考にしてください。

https://github.com/techgymjp/techgym_rails_open/blob/master/Rails_Cloud9_git.pdf

【サンプルソースの公開場所】

第1章 https://github.com/techgymjp/techgym_rails_course01

第2章 https://github.com/techgymjp/techgym_rails_course02

※この法則で順次公開されていきます

【開発環境】

開発環境はAWSのCloud9を使います。

使い方はこちらの1～4ページを参考にしてください。

https://github.com/techgymjp/techgym_rails_open/blob/master/Rails_Cloud9_git.pdf

【課題の進め方】

必ず自分なりに何かしらコーディングして実行するというトライ＆エラーをしてみてください。

そのためにヒントがあります。また、自分でネットで調べる力も大事なスキル習得です。

最初のうちは自力で解けないことばかりなので、ある程度頑張ってみたら、答えを先に見るのも手です。

ポイントは手が動かなくなったタイミングで、ググるか、トレーナーに質問してみてください。

【効率的に進めるにあたって】

問題の意図にないような余計なコーディングはしないことです。それにより躓くことは時間の浪費につながります。また、解答通りにコーディングをしなくてはならない訳ではありません。要求仕様を満たせば、その時点ではとりあえずはOKです。

【先に答えを見たい方は】

次の課題のサンプルソースが模範解答になります。（もしくは解答コードが付記されております。）

コードが読めることもスキル上達の1つのステップですので、模範解答を見ることは全然悪いことではありませんが、きちんと1行ごとに理解するようにしましょう。

【テックジム】 Ruby on Railsコースへようこそ（テキストの使い方）

【効果的な復習のやり方】

1 章（大課題）ごとに「通し」で5回はやってみましょう。

その際に、トライした日付、その課題でトライした時間、解答までにこぎつけたかどうか（○・×）を毎回記入して、前回との差異を見て、理解が進んでいるか、スピードが上がっているかをチェックします。

章の途中で放置して時間が経っている場合は最初からやり直すことをオススメします。

毎回ミスしやすいところは、次回にヒントになることをメモっておくことも理解を深めます。

【次の章に行くタイミングは？】

全ての課題が答えを見ずにできた方は次の章に進んでみてください。

もしくは5回の復習が済んだ方は次の章に進むことができます。

先に進むことで理解することもありますので、とりあえず全問正解を自力で解ければとりあえずOKとします。最終的にはヒントを見なくても解けるようになるのが理想ですが、そこまで完璧主義にならなくてもOKです。